



猿楽だより

渋谷区立猿楽小学校
令和5年5月1日
No. 2



新しいチャレンジにワクワクして取り組みます！

副校長 市川 愛美

新緑がまぶしい、風薫る季節になりました。本校の校庭の空には、PTAの方が飾ってくださったこいのぼりが、風を受けて元気よく泳いでいます。

日頃より本校の教育活動に御理解・御協力をいただきまして、本当にありがとうございます。

副校長の市川愛美と申します。4月に着任して1か月、まだまだ不慣れで猿楽小についても勉強中の身ではありますが、猿楽小の子供たちの可愛らしさ、保護者・地域の方の御協力に、いつも心が温くなる毎日を送っております。



この1か月で感じた渋谷区立猿楽小学校のたくさんの良さの中で、1番多く感じるのは、渋谷区としても、学校としても、保護者・地域の方々も、変化・チャレンジをととても好意的に受け入れてくださるということです。

この変化の激しい時代においては、自ら望もうが望むまいがに関わらず、大きな変化はやってきます。そんな中、教育においても「自ら未来を切り拓く力の育成」が目指されています。

「不易流行」という「変わらない大切なものを大事にしつつ、新しいものも取り入れる」という言葉は、それこそずっと以前から教育業界でも言われていました。しかし今は、「新しいものを取り入れる」だけでなく、「新しいものを考え出してチャレンジする」アップデートを意識する時代だと考えます。学校だからこそ重ねられるトライ&エラーを、児童も教員もどんどんしていきたいと思っています。

一方、先月号で「今年度に大切にしていきたいこと」として御紹介した「対話・挨拶・時間を守る」は、不易の部分です。昔から、そしてこれからも変わることのない大切なことは、変わらず大切にしていきたいと思います。

不易の部分を変わず大切にしつつ、新しいアイデアをワクワクしながら提案し、受け入れて、試してみる。失敗は次回の糧にする。令和5年度の猿楽小は、そんな学校です。

保護者・地域の方々にも、さらに御理解・御協力いただく場面が増えると思います。どうぞ新しいチャレンジを、一緒にワクワク楽しんでいただけたらと思います。

また、新しいチャレンジをしている児童を、結果に関わらずぜひ大いに褒めてください。さらには、新しいチャレンジに取り組む本校教職員を支えていただけましたら幸いです。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

